

①児童相談所児童福祉司

問A (単位:人、%)

	A 勤務する児童相談所の種類及び児童相談所の設置主体名	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	都道府県が設置した児童相談所	593	86.2
2	政令指定都市が設置した児童相談所	82	11.9
3	児童相談所を設置する市として政令で定める市が設置した児童相談所	11	1.6
4	無回答	2	0.3
	n(回答者総数)	688	100.0

問B (単位:人、%)

	B 性別	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	男性	362	52.6
2	女性	310	45.1
3	無回答	16	2.3
	n(回答者総数)	688	100.0

問C (単位:人、%)

	C 職位	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	管理職(所長、課長、室長等)	29	4.2
2	補佐クラス	54	7.8
3	係長クラス	186	27.0
4	係員クラス	388	56.4
5	その他	13	1.9
6	無回答	18	2.6
	n(回答者総数)	688	99.9

①児童相談所児童福祉司

問D (単位:人、%)

	D 採用職種	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	専門職(社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士、教諭、保育士、保健師、看護師などの資格・免許が採用の要件とされ、福祉・保健等の職域で任用された方)	397	57.7
2	行政職(各種資格・免許が採用の要件とされず、行政職として任用された方)	251	36.5
3	その他(上記に挙げた以外の専門職の方等)	24	3.5
4	無回答	16	2.3
	n(回答者総数)	688	100.0

問E (単位:人、%)

	E 経験年数(児童虐待の防止等に関する法律が施行された平成12年11月以降の児童虐待対応に係る経験年数(通算))	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	1年以上～3年未満	343	49.9
2	3年以上～5年未満	126	18.3
3	5年以上～10年未満	179	26.0
4	10年以上	23	3.3
5	無回答	17	2.5
	n(回答者総数)	688	100.0

①児童相談所児童福祉司

問1-1

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 あなたの実感として、児童福祉司として勤務されてからこれまでの間で、児童虐待は増えてきていると思いますか、減ってきていると思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	増えてきていると感じる	558	81.1
2	変化していないと感じる	119	17.3
3	減ってきていると感じる	3	0.4
4	無回答	8	1.2
	n(回答者総数)	688	100.0

問1-2

(単位:人、%)

	【問1-1で「増えてきていると感じる」と回答された方に伺います】 問1-2「増えてきている」と実感している理由は何ですか。特に当てはまると思う選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	児童虐待に対する保護者の認知度・理解度がまだ十分ではなく、児童虐待を行う保護者が増えているから	26	4.7
2	国等が講じている児童虐待防止等のための各種施策が効果を上げていないため、児童虐待を行う保護者が増えているから	12	2.2
3	児童虐待の発生要因(問1-4に挙げられるもの等)が増えたため、児童虐待を行う保護者が増えているから	223	40.3
4	児童虐待に対する関係者、近隣住民等の認知度・理解度が上昇したため、児童虐待の通告が増えているから	282	50.9
5	その他	10	1.8
6	無回答	1	0.2
	n(回答者総数)	554	100.1

①児童相談所児童福祉司

問1-3

(単位:人、%)

	【問1-1で「減ってきていると感じる」と回答された方に伺います】 問1-3「減ってきている」と実感している理由は何ですか。特に当てはまると思う選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	児童虐待に対する認知度・理解度が上昇したため、児童虐待を行わなくなった保護者が増えているから	0	0.0
2	国等が講じている児童虐待防止等のための各種施策が効果を上げたため、児童虐待を行わなくなった保護者が増えているから	0	0.0
3	児童虐待の発生要因(問1-4に挙げられるもの等)が減少したため、児童虐待を行わなくなった保護者が増えているから	0	0.0
4	児童虐待に対する関係者、近隣住民等の認知度・理解度がいまだ不十分であるため、児童虐待の通告も減少しているから	0	0.0
5	その他	3	100.0
6	無回答	0	0.0
	n(回答者総数)	3	100.0

問1-4

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問1-4 あなたは、児童虐待の発生要因は何であると思いますか。次の選択肢のうち、特に大きな発生要因であると思う選択肢を三つまでお選びください。 複数回答	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	保護者の養育能力の不足	435	63.4
2	望まない妊娠	24	3.5
3	複雑な家族構造 (継父母などのステップファミリー等)	321	46.8
4	保護者の精神疾患等	273	39.8
5	保護者の地域からの孤立	250	36.4
6	家庭の経済的貧困	289	42.1
7	保育所等の社会資源の不足	40	5.8
8	虐待の世代間連鎖	240	35.0
9	児童虐待(暴力的虐待)を保護者も近隣住民も「しつけ」と考える風潮	78	11.4
10	子ども側の要因	37	5.4
11	その他	32	4.7
12	無回答	2	0.3
	n(回答者総数)	686	-

①児童相談所児童福祉司

問1-5

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問1-5 あなたは、都市部で発生した児童虐待と郊外又は町村部で発生した児童虐待とでは、どちらでの対応が困難だと思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	都市部での対応の方が困難だと思う	261	37.9
2	郊外又は町村部での対応の方が困難だと思う	22	3.2
3	両方での対応に差はないと思う	114	16.6
4	どちらともいえない	188	27.3
5	両方での勤務経験がないため分からない	102	14.8
6	無回答	1	0.1
	n(回答者総数)	688	99.9

問1-6

(単位:人、%)

	【問1-5で「都市部での対応の方が困難だと思う」と回答された方に伺います】 問1-6 あなたは、なぜそのように思ったのですか。特に当てはまると思う選択肢を二つまでお選びください。 複数回答	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	都市部では、近隣関係の希薄化、密閉性の高い建物構造等により発見されにくい状態が悪化した状態で児童虐待が見つかることが多いから	221	84.7
2	都市部では、シングルマザーが多い等家族関係が複雑化していることが多いから	99	37.9
3	都市部の担当者数は町村部の担当者数より多いものの、それ以上に児童虐待に関する相談や通告の件数が多いため、児童相談所による支援の負担も多くなるから	122	46.7
4	都市部は、在宅指導になるケースが多いため、保護者や関係機関への連絡等頻繁な対応が求められるから	7	2.7
5	都市部では、要保護児童対策地域協議会でのケース検討が形骸化するなど関係機関の十分な連携が図れないから	17	6.5
6	その他	13	5.0
7	無回答	1	0.4
	n(回答者総数)	261	-

①児童相談所児童福祉司

問1-7

(単位:人、%)

	【問1-5で「郊外又は町村部での対応の方が困難だと思う」と回答された方に伺います】 問1-7 あなたは、なぜそのように思ったのですか。特に当てはまると思う選択肢を二つまでお選びください。 複数回答	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	郊外又は町村部では、通報が少ないなどにより発見されにくい状態が悪化した状態で見つけることが多いことから	7	31.8
2	郊外又は町村部では、問題のある家族との同居が多い等家族関係が複雑化していることが多いから	6	27.3
3	郊外又は町村部では、児童虐待に関する相談や通告の件数は少ないものの、それ以上に担当者数が少ないなど体制が脆弱であるため、児童相談所側の負担が多くなるから	10	45.5
4	郊外又は町村部は、概して児童相談所から遠く、在宅指導になると指導に行くのが大変であるから	3	13.6
5	郊外又は町村部では、要保護児童対策地域協議会でのケース検討が形骸化するなど関係機関の十分な連携が図れないから	5	22.7
6	その他	2	9.1
7	無回答	1	4.5
	n(回答者総数)	22	-

①児童相談所児童福祉司

問2-1

(単位:人、%)

		1	2	3	4	
	n(回答者総数)	知らない	有効でない	今後も取り組むべき	無回答	
1	a乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業) 【厚】	688 (100.0)	7 (1.0)	6 (0.9)	672 (97.7)	3 (0.4)
2	b養育支援訪問事業【厚】	688 (99.9)	187 (27.2)	14 (2.0)	484 (70.3)	3 (0.4)
3	c児童虐待防止推進月間の推進【厚】【内】	688 (99.9)	12 (1.7)	217 (31.5)	453 (65.8)	6 (0.9)
4	d地域子育て支援拠点事業【厚】	688 (99.9)	155 (22.5)	45 (6.5)	481 (69.9)	7 (1.0)
5	eスクールカウンセラー等活用事業【文】	687 (100.0)	35 (5.1)	97 (14.1)	550 (80.1)	5 (0.7)
6	fスクールソーシャルワーカー活用事業【文】	688 (100.0)	126 (18.3)	92 (13.4)	463 (67.3)	7 (1.0)
7	g家庭教育支援基盤形成事業(親向けの学習講座や家庭教育支援チーム活動)【文】	687 (99.9)	450 (65.5)	69 (10.0)	159 (23.1)	9 (1.3)
8	h子どもの生活習慣づくり支援事業(「早寝早起き朝ごはん」国民運動)【文】	688 (100.0)	293 (42.6)	179 (26.0)	210 (30.5)	6 (0.9)
9	i子どもの人権を含む各種啓発活動【法】	688 (100.1)	105 (15.3)	138 (20.1)	441 (64.1)	4 (0.6)

(注) 1 各欄の下段の数値は、回答者数をn(回答者総数)で除したもの。

2 【厚】は厚生労働省、【内】は内閣府、【文】は文部科学省、【法】は法務省による取組を示す。

①児童相談所児童福祉司

問2-2

(単位:人、%)

	【問2-1で「乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)」を「(iii) 知っており、今後も引き続き取り組むべきであると思う」と回答された方に伺います】 問2-2 今後、乳児家庭全戸訪問事業をより効果的に実施するためには、何に力を入れるべきであると思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	本事業の訪問者は必ずしも専門資格を持っていないことから、保健師等専門資格を持った者を訪問させること	161	24.0
2	いまだ全戸訪問を達成できていないことから、全戸訪問を徹底させること	310	46.2
3	生後4か月までの訪問では期間が長いことから、生後2か月までなど生後間もない期間に訪問するよう徹底すること	138	20.6
4	その他	58	8.6
5	無回答	4	0.6
	n(回答者総数)	671	100.0

問2-3

(単位:人、%)

	【問2-1で「養育支援訪問事業」を「(ii) 知っているが、有効でないと思う」又は「(iii) 知っており、今後も引き続き取り組むべきであると思う」と回答された方に伺います】 問2-3 本事業は、児童福祉法に位置付けられ、市区町村には実施の努力義務が課せられているところですが、実施する担当部署(母子保健担当、児童福祉担当等)は市区町村によって異なります。 あなたは、本事業をどの部署が担当するべきであると思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	母子保健担当部署(新生児訪問など従来から訪問に係る取組を実施し、訪問に精通しているため)	101	20.3
2	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)と同じ担当部署(乳児家庭全戸訪問事業と連携して実施することが想定されているため)	148	29.8
3	要保護児童対策地域協議会の調整機関と同じ担当部署(訪問結果次第では、要保護児童対策地域協議会を開催する必要があるため)	123	24.7
4	児童福祉担当部署(児童虐待のケース対応に精通しているため)	69	13.9
5	その他	9	1.8
6	無回答	47	9.5
	n(回答者総数)	497	100.0

①児童相談所児童福祉司

問3-1

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問3-1 あなたは、児童虐待を早期に発見し速やかに対応するために、国や地方公共団体において、どのような取組が必要だと思いますか。特に当てはまると思う選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	通告をためらう心理を踏まえた効果的な広報啓発の実施	82	12.0
2	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)等児童虐待の発生予防にも資する取組において早期発見を強く意識した事業の実施	297	43.4
3	学校の教職員、医師等児童の福祉に職務上関係のある者に対する通告促進のための意識の向上	234	34.2
4	学校の教職員、医師等児童の福祉に職務上関係のある者が通告を怠った場合の罰則規定の創設	15	2.2
5	その他	53	7.7
6	無回答	4	0.6
	n(回答者総数)	685	100.1

問4-1

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問4-1「市町村児童家庭相談援助指針」(平成17年2月14日付雇児発第0214002号)において、児童相談所と市町村の児童虐待対応における役割は、市町村が比較的軽微なケースへの対応、児童相談所が専門的支援を必要とするケースへの対応とされていますが、あなたが実務を行うに当たって、役割分担はうまくいっていると思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	うまくいっていると思う	19	2.8
2	どちらかといえばうまくいっていると思う	175	25.4
3	どちらともいえない	167	24.3
4	どちらかといえばうまくいっていないと思う	212	30.8
5	うまくいっていないと思う	113	16.4
6	無回答	2	0.3
	n(回答者総数)	688	100.0

①児童相談所児童福祉司

問4-2

(単位:人、%)

	【問4-1で「どちらかといえばうまくいっていないと思う」又は「うまくいっていないと思う」と回答された方に伺います】 問4-2 あなたは、なぜそう思ったのですか。特に当てはまると思う選択肢を二つまでお選びください。 複数回答	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	児童相談所と市町村の役割分担について明文化されていないから	45	13.8
2	児童相談所と市町村の役割分担について明文化されてはいるが、記述があいまいなため、判断に迷うことがあるから	108	33.2
3	市町村の児童虐待担当課の職員の意識統一が図られていないから	210	64.6
4	児童相談所の児童福祉司の意識統一が図られていないから	11	3.4
5	その他	73	22.5
6	無回答	3	0.9
	n(回答者総数)	325	-

問4-3

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問4-3 児童相談所運営指針において、安全確認を実施する時間については、自治体ごとに地域の実情に応じて設定することとされており、迅速な対応を確保する観点から、48時間以内とすることが望ましいとされていますが、あなたは、このように時間を設定することについて、どのように思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	ケースバイケースであり一律に時間を設定するのは実態にそぐわないと思う	156	22.7
2	基準として安全確認を実施する時間は定められるべきであり、妥当だと思う	504	73.3
3	その他	23	3.3
4	無回答	5	0.7
	n(回答者総数)	688	100.0

①児童相談所児童福祉司

問4-4 (単位: 人、%)

	【すべての方に伺います】 問4-4 あなたは、安全確認を必要としているかの判断や設定した時間以内に安全確認が実施できたかどうか、担当の児童福祉司任せではなく、上司等に報告し、上司等がチェックを行う必要性についてどのように思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	実際に上司等がチェックを行っており、引き続きチェックは必要だと思う	622	90.4
2	実際に上司等がチェックを行ってはいるが、チェックは必要だと思わない	7	1.0
3	上司等がチェックを行っていないが、チェックは必要だと思う	45	6.5
4	上司等がチェックを行っておらず、今後もチェックが必要だとも思わない	11	1.6
5	無回答	3	0.4
	n(回答者総数)	688	99.9

問4-5 (単位: 人、%)

	【すべての方に伺います】 問4-5 あなたは、被虐待児童の一時保護や一時保護所に関して、どのような取組が必要だと思いますか。特に必要だと思う選択肢を三つまでお選びください。 複数回答	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	一時保護所の増設	354	51.5
2	一時保護所の定員の増員	231	33.6
3	一時保護所での夜間の勤務態勢の拡充	307	44.7
4	一時保護所に被虐待児童を受け入れる場合の措置費の増額	36	5.2
5	被虐待児童とその他の児童との居室の区分け等による混合処遇の改善	388	56.5
6	一時保護所の入所対象とされていない乳児(0歳)及び幼児(1歳から2歳程度)の委託一時保護先の拡充	191	27.8
7	一時保護委託費の増額	155	22.6
8	委託一時保護中の児童に対する心理的ケアの充実	195	28.4
9	その他	60	8.7
10	無回答	5	0.7
	n(回答者総数)	687	-

①児童相談所児童福祉司

問4-6

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問4-6 あなたは、児童虐待により施設に入所した児童や継続的に援助を行う必要がある児童に対する支援に困難を感じることはありますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	ある	629	91.4
2	どちらともいえない	47	6.8
3	ない	4	0.6
4	無回答	8	1.2
	n(回答者総数)	688	100.0

問4-7

(単位:人、%)

	【問4-6で「ある」と回答された方に伺います】 問4-7 あなたは、なぜそのように思ったのですか。特に当てはまると思う選択肢を三つまでお選びください。 複数回答	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	児童福祉司や児童心理司の一人当たりのケース受持件数が多いなど人員配置に余裕がなく、児童に対してきめ細かなケアを行う時間がないから	554	88.2
2	児童福祉司や児童心理司の人事異動が多いため、継続的な対応が難しくなっているから	232	36.9
3	経験の長いベテランの児童福祉司や児童心理司が少なく相談できる相手がいないから	108	17.2
4	児童養護施設や乳児院等の児童福祉施設が不足しているから	179	28.5
5	里親が不足しているから	38	6.1
6	施設退所後の自立支援のための施策が不足しているから	312	49.7
7	市区町村との連携が円滑に進まない場合があるから	84	13.4
8	小・中・高等学校や幼稚園又は保育所との連携が円滑に進まない場合があるから	75	11.9
9	児童福祉施設(保育所を除く。)との連携が円滑に進まない場合があるから	91	14.5
10	その他	80	12.7
11	無回答	1	0.2
	n(回答者総数)	628	-

問4-8

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問4-8 あなたは、児童虐待を行った保護者に対する支援に困難を感じることはありますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	ある	670	97.4
2	どちらともいえない	10	1.5
3	ない	0	0.0
4	無回答	8	1.2
	n(回答者総数)	688	100.1

問4-9

(単位:人、%)

	【問4-8で「ある」と回答された方に伺います】 問4-9 あなたは、なぜそのように思ったのですか。特に当てはまると思う選択肢を三つまでお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
	複数回答		
1	虐待を認識しない保護者への対処など難しい事例が少なくないから	564	84.3
2	児童福祉司や児童心理司の一人当たりのケース受持件数が多いなど人員配置に余裕がなく、保護者に対してきめ細かなケアを行う時間がないから	438	65.5
3	児童福祉司や児童心理司の人事異動が多いため、継続的な対応が難しくなっているから	115	17.2
4	経験の長いベテランの児童福祉司や児童心理司が少なく、相談できる相手がいないから	76	11.4
5	家族の再統合のためのプログラムが確立されていないから	169	25.3
6	保護者に対する指導のプログラムが確立されていないから	324	48.4
7	市区町村との連携が円滑に進まない場合があるから	64	9.6
8	小・中・高等学校や幼稚園又は保育所との連携が円滑に進まない場合があるから	52	7.8
9	児童福祉施設(保育所を除く。)との連携が円滑に進まない場合があるから	15	2.2
10	その他	67	10.0
11	無回答	0	0.0
	n(回答者総数)	669	-

①児童相談所児童福祉司

問4-10

(単位:人、%)

	n(回答者総数)	1	2	3	4	5	6	7
		有効だと思う	どちらかといえば有効だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば有効だと思わない	有効だと思わない	分からない	無回答
1 a 児童家庭支援センター事業	688 (100.0)	158 (23.0)	217 (31.5)	116 (16.9)	33 (4.8)	25 (3.6)	116 (16.9)	23 (3.3)
2 b 児童養護施設等を対象とした小規模グループケア	688 (100.0)	309 (44.9)	249 (36.2)	59 (8.6)	6 (0.9)	3 (0.4)	46 (6.7)	16 (2.3)
3 c 小規模住居型児童養育事業	688 (100.0)	283 (41.1)	236 (34.3)	71 (10.3)	6 (0.9)	4 (0.6)	67 (9.7)	21 (3.1)
4 d 里親に対する研修等を実施する里親制度普及促進事業	687 (100.0)	218 (31.7)	263 (38.3)	115 (16.7)	19 (2.8)	9 (1.3)	43 (6.3)	20 (2.9)
5 e 里親委託等推進員による里親委託推進・支援等事業	688 (100.1)	193 (28.1)	224 (32.6)	139 (20.2)	25 (3.6)	13 (1.9)	74 (10.8)	20 (2.9)
6 f 施設退所児童に対する児童自立生活援助事業	688 (100.0)	353 (51.3)	199 (28.9)	53 (7.7)	11 (1.6)	5 (0.7)	48 (7.0)	19 (2.8)
7 g 施設への長期入所児童の家庭復帰に向けた保護者指導支援事業	688 (100.0)	194 (28.2)	181 (26.3)	122 (17.7)	21 (3.1)	14 (2.0)	136 (19.8)	20 (2.9)

(注) 各欄の下段の数値は、回答者数をn(回答者総数)で除したものを。

問4-11

(単位:人、%)

	回答者数(A)	割合(A/n)
1 ある	580	84.3
2 ない	90	13.1
3 無回答	18	2.6
n(回答者総数)	688	100.0

①児童相談所児童福祉司

問4-12

(単位:人、%)

	【問4-11で「ある」と回答された方に伺います】 問4-12 あなたは、どのような場面でそのように感じましたか。特に当てはまると思う選択肢を二つまでお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
	複数回答		
1	病院受診、入院、予防接種等の医療に関わる場面	361	64.2
2	学校の選択、退学等の教育に関わる場面	267	47.5
3	携帯電話や賃貸住宅の契約、貯金通帳の作成、パスポートの取得等保証人が必要とされる場面	210	37.4
4	親族との通信、面会を必要とする場面	152	27.0
5	遺族年金の受給、保険金の受取等財産の管理に関わる場面	36	6.4
6	その他	10	1.8
7	無回答	2	0.4
	n(回答者総数)	562	-

問4-13

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問4-13 あなたは、児童虐待の早期対応から児童虐待の被害児童等に対する保護・支援までの一連の取組について、今後、国や地方公共団体でどのような取組が必要だと思えますか。特に当てはまると思う選択肢を三つまでお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
	複数回答		
1	児童相談所の児童福祉司や児童心理司の増員	492	72.1
2	市区町村の担当職員の増員	249	36.5
3	児童相談所と市町村の役割分担に関する具体的基準の提示	147	21.6
4	安全確認を実施する時間設定の在り方等の見直し	10	1.5
5	一時保護所の定員増や増設又は環境改善	189	27.7
6	児童福祉施設最低基準の見直し	136	19.9
7	施設の職員に対する被虐待児童への対応に関する研修の充実	68	10.0
8	児童養護施設、乳児院等児童福祉施設の定員増や増設	87	12.8
9	児童福祉施設の居室の個室化等居住環境の整備の推進	69	10.1
10	登録里親数の増加と里親委託の推進	32	4.7
11	施設退所後の自立支援のための施策の充実	111	16.3
12	保護者に対する指導のプログラムの確立	141	20.7
13	家族の再統合のためのプログラムの確立	72	10.6
14	立入調査を行う場合の警察による積極的な関与	116	17.0
15	その他	67	9.8
16	無回答	11	1.6
	n(回答者総数)	682	-

①児童相談所児童福祉司

問5-1

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問5-1 児童福祉司が、児童虐待事例において適切な判断ができるためには、あなたは、何年以上の経験年数が必要だと思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	1年未満	2	0.3
2	1年以上	30	4.4
3	2年以上	74	10.8
4	3年以上	286	41.6
5	4年以上	31	4.5
6	5年以上	220	32.0
7	その他	30	4.4
8	無回答	15	2.2
	n(回答者総数)	688	100.2

問5-2

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問5-2 あなたは、児童福祉司が常時受け持つ児童虐待事例の件数は、児童福祉司一人当たり何件程度が妥当だと思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	0件未満	208	30.2
2	10件以上～20件未満	223	32.4
3	20件以上～30件未満	146	21.2
4	30件以上～40件未満	54	7.8
5	40件以上～50件未満	30	4.4
6	50件以上～60件未満	11	1.6
7	60件以上	1	0.1
8	無回答	15	2.2
	n(回答者総数)	688	99.9

問5-3

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問5-3 あなたは、児童福祉司についてどの程度の配置数が妥当だと思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	現状の3倍程度の児童福祉司を配置	141	20.6
2	現状の2倍程度の児童福祉司を配置	297	43.4
3	現状の1.5倍程度の児童福祉司を配置	202	29.5
4	現状のまま	14	2.0
5	現状より少なくて良い	1	0.1
6	その他	18	2.6
7	無回答	12	1.8
	n(回答者総数)	685	100.0

問5-4

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問5-4 あなたの業務における児童虐待対応に関する負担について、どう思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	負担が非常に大きいと思う	399	58.0
2	負担が大きいと思う	248	36.0
3	適当だと思う	29	4.2
4	負担は少ないと思う	2	0.3
5	負担はほとんどないと思う	0	0.0
6	無回答	10	1.5
	n(回答者総数)	688	100.0

①児童相談所児童福祉司

問5-5 (単位:人、%)

	【問5-4で「負担が非常に大きいと思う」又は「負担が大きいと思う」と回答された方に伺います】 問5-5 あなたは、なぜそう思ったのですか。特に当てはまると思う選択肢を二つまでお選びください。 複数回答	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	受け持つ事例の件数が多すぎると思うから	337	52.6
2	保護者から暴行を受ける可能性があると思うから	26	4.1
3	指導に従わない保護者の対応に苦慮しているから	395	61.6
4	児童虐待事例では、継続的な対応を求められることが多いから	319	49.8
5	援助がうまくいかない時マスコミ等から責任を問われる場合があるから	70	10.9
6	その他	68	10.6
7	無回答	3	0.5
	n(回答者総数)	641	-

問5-6 (単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問5-6 都道府県やあなたが勤務する児童相談所によるメンタルヘルスカウンセリング等のバーンアウト対策について、あなたは、十分だと思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	十分だと思う	4	0.6
2	どちらかといえば十分だと思う	35	5.1
3	どちらともいえない	135	19.6
4	どちらかといえば不十分だと思う	158	23.0
5	不十分だと思う	305	44.3
6	分からない	42	6.1
7	無回答	9	1.3
	n(回答者総数)	688	100.0

①児童相談所児童福祉司

問5-7 (単位:人、%)

	【問5-6で、「どちらかといえば不十分だと思う」又は「不十分だと思う」と回答された方に伺います】 問5-7 あなたは、なぜそのように思ったのですか。特に当てはまると思う選択肢を二つまでお選びください。 複数回答	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	メンタルヘルスカウンセリングを実施していないから	146	31.6
2	過度の負担がかかっているとみられる児童福祉司の受持件数が調整されていないから	199	43.1
3	児童福祉司等に欠員が出た場合に速やかに人員が補充される仕組みが整備されていないから	144	31.2
4	新任の児童福祉司が児童虐待対応について、事前に十分な研修を受けられず、十分な知識やスキルを持たないまま、事例を担当せざるを得ないから	315	68.2
5	その他	46	10.0
6	無回答	0	0.0
	n(回答者総数)	462	-

問5-8 (単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問5-8 現在、国や地方公共団体やあなたが勤務する児童相談所が、児童福祉司に対して実施している研修は、質、量共に十分だと思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	十分だと思う	10	1.5
2	どちらかといえば十分だと思う	100	14.6
3	どちらともいえない	138	20.1
4	どちらかといえば不十分だと思う	194	28.3
5	不十分だと思う	220	32.1
6	分からない	15	2.2
7	無回答	9	1.3
	n(回答者総数)	686	100.1

①児童相談所児童福祉司

問5-9

(単位:人、%)

	【問5-8で「どちらかといえば不十分だと思う」又は「不十分だと思う」と回答された方に伺います】 問5-9 あなたは、なぜそう思ったのですか。特に当てはまると思う選択肢を二つまでお選びください	回答者数 (A)	割合 (A/n)
	複数回答		
1	そもそも研修の内容や教材が業務の実態に合っていないため	57	13.8
2	複雑化している児童虐待事例の実態に研修プログラムが合わなくなっているため	91	22.0
3	児童虐待に関する研修の実施回数が少なく、研修に参加する機会に恵まれないため	212	51.2
4	職場内で日常の業務を通じて研修を行うOJT(On-the-Job Training)の仕組みが確立していないため	192	46.4
5	その他	82	19.8
6	無回答	32	7.7
	n(回答者総数)	414	-

問5-10

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問5-10 あなたは、国や都道府県等が実施する研修について、どのようなプログラムの充実を図って欲しいと思いますか。特に当てはまると思う選択肢を三つまでお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
	複数回答		
1	児童虐待の心身の発達に及ぼす影響	138	20.1
2	虐待を行う親への適切な指導・支援の在り方	535	77.8
3	援助方針の設定方法	188	27.3
4	リスクアセスメントの在り方	208	30.2
5	ケースの進行管理の在り方	166	24.1
6	児童虐待に対する法的手段の適切な活用	275	40.0
7	的確な虐待対応に向けた市区町村等関係機関との連携の在り方	221	32.1
8	その他	26	3.8
9	無回答	56	8.1
	n(回答者総数)	688	-

①児童相談所児童福祉司

問5-11-a (単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問5-11 あなたの勤務する児童相談所において、「a 増員が必要だと思う職種」及び「b 新たに配置する必要があると思う職種」は何ですか。それぞれについて、以下の選択肢の中から、特に該当すると思う職種の番号をa及びbの記入欄に三つまでご記入ください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
	複数回答		
1	相談員	369	54.3
2	精神科医	134	19.7
3	児童心理司	516	75.9
4	心理療法担当職員	118	17.4
5	小児科医	21	3.1
6	保健師	113	16.6
7	理学療法士(言語治療担当職員を含む。)	0	0.0
8	臨床検査技師	0	0.0
9	精神保健福祉士	11	1.6
10	保育士	63	9.3
11	教員	20	2.9
12	警察官OB	15	2.2
13	弁護士	10	1.5
14	その他	55	8.1
15	無回答	72	10.6
	n(回答者総数)	680	-

問5-11-b (単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問5-11 あなたの勤務する児童相談所において、「a 増員が必要だと思う職種」及び「b 新たに配置する必要があると思う職種」は何ですか。それぞれについて、以下の選択肢の中から、特に該当すると思う職種の番号をa及びbの記入欄に三つまでご記入ください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
	複数回答		
1	相談員	14	2.1
2	精神科医	140	20.6
3	児童心理司	1	0.1
4	心理療法担当職員	120	17.7
5	小児科医	84	12.4
6	保健師	162	23.9
7	理学療法士(言語治療担当職員を含む。)	18	2.7
8	臨床検査技師	2	0.3
9	精神保健福祉士	183	27.0
10	保育士	36	5.3
11	教員	82	12.1
12	警察官OB	195	28.7
13	弁護士	205	30.2
14	その他	38	5.6
15	無回答	102	15.0
	n(回答者総数)	679	-

①児童相談所児童福祉司

問6-1

(単位:人、%)

	【すべての方に伺います】 問6-1 あなたは、要保護児童対策地域協議会 (以下「要対協」と表記します。)における関係機関 の連携は十分であると思いますか。当てはまる選 択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	十分だと思う	12	1.7
2	どちらかといえば十分だと思う	136	19.8
3	どちらともいえない	189	27.5
4	どちらかといえば不十分だと思う	198	28.8
5	不十分だと思う	93	13.5
6	要対協は設置されておらず、分からない	3	0.4
7	無回答	57	8.3
	n(回答者総数)	688	100.0

問6-2

(単位:人、%)

	【問6-1で「どちらかといえば不十分だと思う」又は 「不十分だと思う」と回答された方に伺います】 問6-2 あなたは、なぜそう思ったのですか。特に 当てはまると思う選択肢を一つお選びください。	回答者数 (A)	割合 (A/n)
1	要対協の構成機関数やメンバーが不十分であるため	10	3.5
2	要対協の各種会議(特に個別ケース検討会議)の 開催が低調であり、効果的に機能していないため	110	38.9
3	要対協の各種会議(特に個別ケース検討会議)が 開催されていても形骸化しており、効果的に機能し ていないため	109	38.5
4	関係機関の間での人事交流が行われないなど情報 を共有しやすい環境にないため	17	6.0
5	都道府県単位の要対協が設置されていないため	1	0.4
6	その他	36	12.7
7	無回答	0	0.0
	n(回答者総数)	283	100.0